



鳥獣被害は、中山間地域における人間の活動の低下が一つの原因といわれています。農林業が主要な産業であった時代、里山を緩衝地帯として住み分けをしていたといわれている鳥獣が、農林業の低迷による放棄地の拡大によって増え続け、人間の生活圏にまで現れるようになったといわれています。

増え続ける鳥獣被害
 那須町農業委員会
 農業振興部長職務代理
薄井 啓

平成24年度の全国での農作物被害額は230億円、25年度199億円と農水省が発表しました。栃木県では、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5カ年計画である「第11次鳥獣保護管理事業計画」により対策を進めています。本町における被害額は、平成25年度が2,548万円、26年度には3,636万円と拡大しています。

本町では、町が中心となって鳥獣被害対策実施隊を編成するとともに、他市町村にさがかけて近年急増しているイノシシ、サルの有害鳥獣捕獲報償金を増額し、被害の拡大を抑える努力をしています。地元猟友会の協力もあって、イノシシの捕獲数は平成25年度が36頭、26年度は129頭、ニホンサルは17頭が48頭に増え、それぞれ成果がありました。しかしまだまだ追いつかない状況にあります。それは、中心となって活動している猟友会員の減少が一つの要因です。全国でもピークの昭和51年には約

53万人、平成元年には約29万人、23年には約20万人と激減しています。本町も同様に減少しており、今年の登録者は現在61名です。これではとてもイノシシ、サル、シカ等の急増には追いついていません。また最近ではハクビシンの被害が増えています。隣接市町ではアライグマの痕跡も確認されています。このような外来動物が増え続けていることから、被害は増え続けると思われる。

農業委員会活動報告	
平成27年5月から平成27年9月までの活動を報告します。	
5月15日(金)	第1回運営委員会
5月28日(木)	第2回農業委員会総会、第1回全員協議会
6月1日(月)	農業委員会だより「たがやす」第58号発行
6月30日(火)	第3回農業委員会総会、第2回全員協議会
7月3日(金)~4日(土)	農業委員視察研修(岩手県岩手郡葛巻町・北上市)
7月7日(火)	第1回農業委員研修会(宇都宮市)
7月16日(木)	高齢者教養講座“笑食～牛乳を食べよう!～”(伊王野公民館共催)
7月21日(火)	第1回農業振興特別部会、第2回運営委員会
7月31日(金)	第1回農業振興部会、第4回農業委員会総会、第3回全員協議会
〃	那須地方農業委員会会長・事務局長合同会議(那須塩原市)
8月1日(土)~	農地パトロール(利用状況調査)(11月末日まで)
8月10日(月)	農業者年金加入推進特別研修会(宇都宮市)
8月12日(水)	第3回運営委員会
8月27日(木)	那須・塩谷・南那須地域農業委員会会長研修会(那須塩原市)
〃	全国農業新聞普及推進会議(那須塩原市)
8月31日(月)	第5回農業委員会総会、第4回全員協議会
9月18日(金)	第2回農業振興特別部会、第4回運営委員会
9月29日(火)	平成27年度農業者年金加入推進事務研修会及び加入推進検討会(大田原市)
9月30日(水)	第2回農業振興部会、第6回農業委員会総会

近年、ワナの免許を取る人が少し増えてきています。農家でも農耕地の自己管理の観点から、ワナの免許を取り、設置している人もいます。本町でもできるだけ狩猟登録者を増やしていくことも必要であると思います。ワナの場合、要件が揃えば自作地での捕獲許可は個人でも下りることになります。これらの方策により、少しでも被害を減らすことが必要であると感じています。